

みずほCustomer Desk Report 2025/04/17 号(As of 2025/04/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.93
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	143.16	1.1294	161.50	1.3231	0.6338
SYD-NY High	143.25	1.1413	162.25	1.3292	0.6391
SYD-NY Low	141.64	1.1284	161.46	1.3212	0.6323
NY 5:00 PM	141.82	1.1399	161.75	1.3241	0.6372
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,669.39	▲ 699.57	日本2年債	0.6100%	▲0.0200%
NASDAQ	16,307.16	▲ 516.01	日本10年債	1.2800%	▲0.0800%
S&P	5,275.70	▲ 120.93	米国2年債	3.7748%	▲0.0754%
日経平均	33,920.40	▲ 347.14	米国5年債	3.9078%	▲0.0796%
TOPIX	2,498.03	▲ 15.32	米国10年債	4.2797%	▲0.0592%
シゴ日経先物	33,950.00	▲ 640.00	独10年債	2.5020%	▲0.0420%
ロンドンFT	8,275.60	26.48	英10年債	4.6060%	▲0.0430%
DAX	21,311.02	57.32	豪10年債	4.3090%	0.0200%
ハンセン指数	21,056.98	▲ 409.29	USDJPY 1M Vol	14.22%	0.57%
上海総合	3,276.00	8.34	USDJPY 3M Vol	12.65%	0.39%
NY金	3,346.40	106.00	USDJPY 6M Vol	11.86%	0.31%
WTI	62.47	1.14	USDJPY 1M 25RR	▲2.55%	Yen Call Over
CRB指数	292.70	3.40	EURJPY 3M Vol	11.40%	0.41%
ドルインデックス	99.38	▲ 0.84	EURJPY 6M Vol	11.07%	0.30%

東京	東京時間のドル円は143.16レベルでオープン後、同水準を高値にその後は淡々と売りが続く展開。翌日に控える日米通商協議での円安是正の議論に対する警戒感や、米エレクトロニクスへの対中規制強化の影響を懸念した半導体銘柄を中心とした株安もあり、下押し圧力が強く、一時142.10まで下落。一服後はやや値を戻したものの上値は重く、142.36レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.36レベルでオープン。米引け後の米テック株ヘッドラインにリスクオフが始まると142.03まで売られる。しかし、中国が米との関税交渉にオープンとの報道で142.93まで反発し、結局142.67レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、米3月小売売上高(コントロールグループ)が予想を下回ると、市場はドル売りで反応し、142.30付近まで下落。しかし、その後は米株が上昇する展開を横目に142.86まで反発。午後はパウエル議長が「関税が経済に与える影響、予想より大きい可能性が高い」等との発言を背景にリスクオフが強まり、141.64まで値を下げ、その後141.82レベルでクロス。一方、NY市場のユーロドルは、午前中は先述の予想を下回った米3月小売売上高(コントロールグループ)等の結果を受け、ドルが売られる中、1.1390付近まで上昇。午後はパウエル議長が米経済の先行きが不透明だとの発言を受けたドル売り地合いが続き、1.1413まで上値を伸ばす。その後小幅反落し、1.1399レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・西

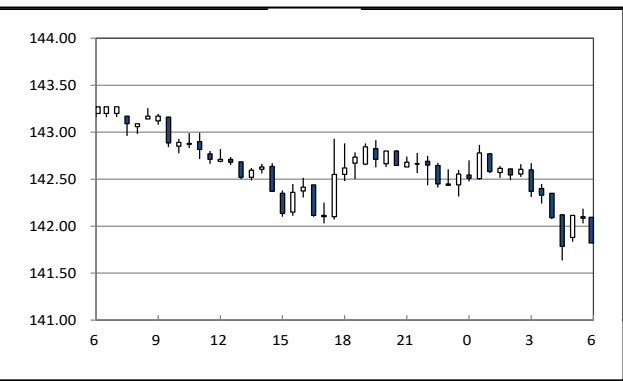
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月16日	11:00	中 GDP(前年比)	1Q 5.4%	5.2%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	3月 5.9%	4.3%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	3月 7.7%	5.9%
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.3%/2.6%	0.4%/2.7%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	3月 1.4%	1.4%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	3月 0.5%	0.4%
	21:30	米 小売売上高(コントロールグループ)	3月 0.4%	0.6%
4月17日	02:30	米 パウエルFRB議長 講演	-	物価安定なければ力強い労働市場の実現不可能

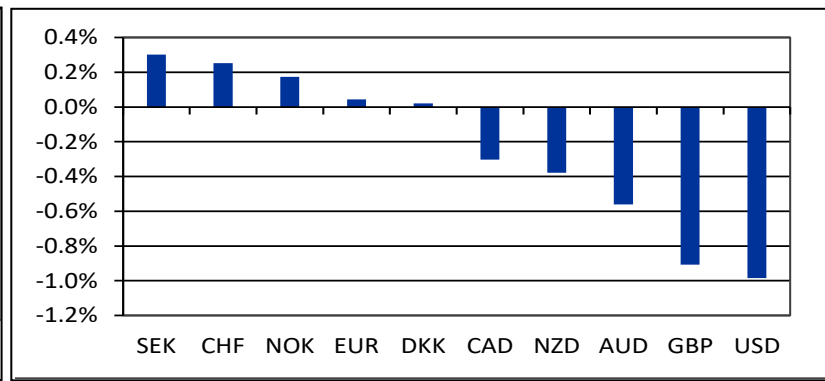
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月17日	08:50	日 貿易収支	3月 ¥464.9b	¥590.5b
	21:15	欧 ECB主要政策金利	17-Apr 2.40%	2.65%
	21:30	米 住宅着工件数	3月 1420k	1501k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	12-Apr 225k	223k
4月18日	00:45	米 バーFRB副議長 講演	-	-
	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	3月 3.7%/3.2%/2.9%	3.7%/3.0%/2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.80-143.00	1.1300-1.1470	160.80-162.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は「関税がインフレに与える影響が根強くなっている」というパウエルFRB議長の発言を受けて、米株が下落しドル円相場は年初来安値を更新した。本日の注目は日米通商交渉である。主に関税措置に関しての協議になるが、為替についても議題に上がるだろう。日本は米トランプ政権との関税政策を巡る交渉のトップバッターになるが、急遽トランプ米大統領の参加が決定し通商交渉には警戒感が高まっている。円安是正の早急な対応を求められれば、130円台まで下落する可能性もあろう。またECB理事会が開催され25bpの利下げが見込まれているが、その後のラガルド総裁の発言に注目したい。米トランプ政権の関税政策を巡り、今後の金融政策の修正を余儀なくされるか注目である。

担当: 原田・西